・ソフトの概要

このソフトは、リバーシの詰め問題の棋譜を、CSVファイルのある個所へ記録し、ソフト上の対応するボタンを押すを、PCが、その棋譜通りに相手してくれるソフトです。

下の方にあるResultの選択モードでは、正解手順を、mistakeでは、間違い手順を記録し、memoの中に、それぞれについて、記述できます。

・作者への連絡先(メールアドレス、掲示板 等)

kojiro\_i6191＠yahoo.co.jp

・取り扱い種別(フリーソフト、シェアウェア 等)

フリーソフトです。

・動作環境

Windows7およびWindows10で動作確認しております。

１）このソフトは、マイクロソフト社のVisual Basicで作られています。普通のWindows10マシンでは、そのまま動きますが、もし動かない場合は、

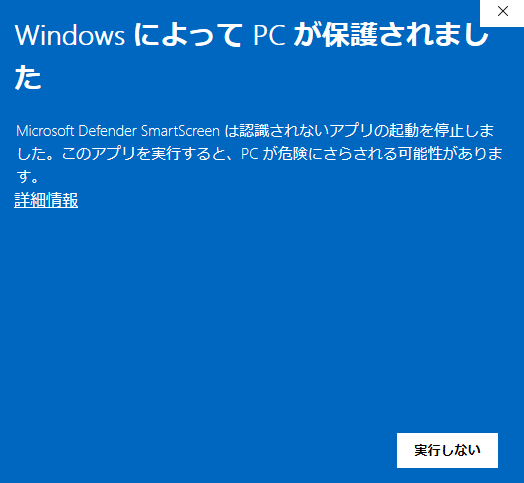
<https://dotnet.microsoft.com/download/dotnet-framework>

にあります、「.NET Framework」のランタイムのソフトをインストールしておく必要があります。

２)McAfeeなどのセキュリティソフトで、削除されてしまいます。それを防ぐにはMcAfeeの場合、 **McAfeeを開く**:

* タスクバーのMcAfeeアイコンを右クリックし、「McAfeeセキュリティを開く」または「McAfee Total Protection」を選択して開きます。
* McAfeeのメイン画面で、右の上から４番目の、「保護」をクリックして、「リアルタイムスキャン」に進み、「除外するファイル」へ、例外に追加したいファイルやフォルダーを指定します。

３）R\_showが実行ファイルですが、ダブルクリックすると最初は



が表示されます。

ここで、詳細情報をクリックしてから、実行キーを押すと、アプリが実行されます。

・インストール・アンインストール方法

インストール：zipファイルを解凍して、デスクトップ上などに、置いてください。

アンインストール：フォルダごと、削除してください。ただし、棋譜のデータも削除されますので、CSVファイルは、バックアップした方が良いでしょう。

使用方法

概略：

R\_show.exeをクリックして、ソフトを起動します。CSVファイルを開いていると、起動しません。

もしWindows10でPCが保護されましたと表示された場合、詳細情報をクリックして、実行ボタンを押します。

右上のInput Modeは途中場面を入力するmodeで、Output Modeは、その途中場面からの手順を練習したり、自動再生したりするmodeです。このラジオボタンを

選ぶことで、２つのModeを切り替えます。

基本的に、詰め問題は、W5（白番5個空き）、B6（黒番6個空き）、W7（白番7個空き）、B8（黒番8個空き）、W9（白番9個空き）、B10（黒番10個空き）です。

それぞれについて、ソフトが判断し、下のボタンの選択をしなくても、決まったところへ、自動的に送られます。その他が、もしあれば、それも、送られます。

縦の列の先頭のラベルに、記載されています。

・Input Modeで使う道具

　ソフトが表示されましたら、大きく、一番上のメニューのNew. Select Pic. Select Movement. Select Recordがあります。また左下にPic.の名前のテキストボックス、

Moveのテキストボックス、Recordのテキストボックス、Game inボタン、< >のボタン、SetUpの中にBlack Disc,White Disc,Blankのラジオボタン、Playの

中に、Black,Whiteラジオボタン、Your Colorの中に、Black,Whiteのラジオボタン、startボタン、ReShow Pic.ボタン、Memoのテキストボックス、Send dataボタンが

あります。

・Input ModeとOutput Modeの両方で使うもの

　Moving 0 B 0 W 0は、画面の石数が手順番号を示します。

　下のResultとmistakeの選択ボタン：Resultは正解手順を記録し、mistakeでは、間違い手順を記録する。この順で、記録すると、自動的に、同じボタンに、記録でき

　出力では、これらのボタンを選ぶことで、それぞれの手順を再現する。

・Output Modeで使う道具

右側の初期化ボタン、Showのチェックボックス、トラックバー、Last Discチェックボックス、Color Clearチェックボックス、All Color Clearボタン、Initial Color

nothing Your Color nothing のラベル、blackボタン、whiteボタン、Abstボタンです。

途中場面からの展開を入力する方法

以下は、下のResultが選択されている状態のものです。

方法１：一番簡単なのは、WZebraをこのフォルダーの中に入れておいて、WZebraのメニューの対局、盤面設定を選択し、途中場面を設定し、そこからの展開をWzebraでクリックしながら、

最終場面まで進み、ファイル、出力、テキスト形式で、ファイルを、このフォルダにあるwz.txtへ上書き保存し、左下のwz.textを押すと、最終場面、そこまでの棋譜、初めの場面のデータが、

Moveのテキストボックス、Pic.のテキストボックスに表示されます。Memoのテキストボックスに、この場面の自分なりのコメントを入力し、Your Colorでこの場面でのあなたの色を選んで

Send dataボタンを押してください。WZebraで設定した場面の手数で1-20手までは、フォルダの1,2,3に順に入ります。21-40手までは、次の4,5,6フォルダに、41-は7,8,9,10

フォルダに送られます。1のフォルダの中に並んでいるボタンは、a-hまでの列にそれぞれ15個のボタンが縦に配列されており、a1,a2の順に、入力されます。reversi\_halfway\_data.CSVファイルの

95行目以降に、順次入力されます。

Wzebraは一度、このフォルダに、テキストファイルを出力しておくと、次から、自動的に選ばれます。

mistakeの手順をwz2.txtに記録し、mistakeを選んで、wz.textを押すと、mistake手順が、入力されます

方法２：下のような棋譜の途中場面からの設定について説明します。

f5d6c3d3c4f4c5b3c2b4e3e6c6f6a5a4b5a6d7c7e7e8b6d8g3f7g5d1c1b1g6a7g8h6h5f8c8h4g4b2a1b7e1h3g7d2e2f2a2h8f3f1h7a3a8b8g1g2h1h2

この棋譜を、Recordのテキストボックスにコピー、ペーストしてください。

そしてGame inのボタンを押し、>ボタンを押して行ってください。この棋譜が再現されます。手順を戻る時には<ボタンを押して、戻してください。

途中で、このソフトで設定したい開始場面まで行って、スタートボタンを押すと、この場面が、Pic.テキストボックスに表示され、Playで示された

色から、ボード版をクリックして、手順を進めますと、Moveテキストボックスに、その手順が表示されます。スタートボタンを押すときには、既定では

Playの色（つまり、場面の開始色）と自分の色が同じに設定されていますが、自分の色(Your Volor)を、変えることもできます。

手順の設定が終わったら、Memoに自分のコメントを記入し、Send dataボタンを押します。

方法３：メニューのNewを押して、ボードを設定画面にします。

ボードの適当な個所を押しますと、黒のDiscが設定されます。また、左下のSetupのWhite Discを選びますと、白のDiscが設定でき、Blankを選ぶと、

Discを削除できます。このようにして、設定したい場面を設定します。

この最初の場面で、打つ石の色をPlayのBlack,Whiteを選択して、設定します。また、その場面でのあなたの色をYour Colorで設定しStartボタンを押し、

後は、方法２と同じです。

方法１，２，３で共通していることは、

Pic.のテキストボックスに入力される、初期画面の場面のフォーマットについてです。これは、文字列の長さが64＋場面のさす色（Initial Color)と自分の色（Your Color)で66の長さの

文字列で表現されています。この中で、65番目までを選択、コピーしし、NBoard（Edaxなどを表すGUIソフトです）のEdit,Paste Boardを選びますと、Nboardに設定場面が、張り付けられ、

>|で、最終場面まで行きますと、同じ場面が設定でき、分析できます。

途中場面からの展開を出力する方法

ボタンを押すと、設定した自分の色で、PC相手に、設定手順を練習できます。右側のShowのチェックボックスにチェックを入れてから、ボタンを押しますと、手順が、自動再生されます。

Last Discにチェックが入っていると、最後に打った石に＋が表示されます。間違いが１回は青色、２回は緑色、３回は黄色、４回以上は赤で表示されます。All Color Clearのボタンは、

それらの色をクリアーします。ただし、コメントで、最後に!を付けますと、これは、よくある場面での間違い手順を示す場合に使うのですが、この場合は、ボタンの色が薄いピンク色に

設定され、これは、変化しません。

All Color Clearのボタンの下にある、Initial Colorは、場面での最初の手順の色、Your Colorは、あなたの色です。その下のBlackボタンは、あなたの色で黒を設定した、全場面を、ランダムに

選んで、PCが相手します。Whiteも白番で同じです。

最後のAbstボタンですが、これは、途中場面からの展開を入力した際に、ボタンの左のチェックボックスに自動的に、チェックが入ります。このチェックが入っている設定場面を、自動再生します。

チェックボックスのチェックは、はずすこともできます。

左側の初期化ボタンは、Output Modeの時に使いますが、自動再生しているときは、使わないでください。

CSVファイルのB13-B92までで、列の上のラベルの名前を設定できます。

また、I95-からの列には、方法２で使った、棋譜が記録されます。

各データの記録場所は、CSVファイルを出力し、確かめてください。

mistake>の入力方法

1.下にあるResultとmistakeでmistakeを選択し、wz.textボタンを押す。あらかじめwz2,textファイルに、Wzebraからmistakeの途中場面と、進行を保存しておくと、これが入力される。

2.Recordに最初からの棋譜を入力し、Game inをして、<と>のボタンで、相当する場面まで、持ってきて、自分の色を設定しstartボタンを押し、オセロ盤をクリックしながら、手順を入力する。

　最初にResultの正解を、入力し、sendボタンで、データを送る。

　次に、ReShow Picボタンを押し、mistakeを選択し、startを押して、オセロ盤に間違い手順を入力し、sendボタンを押す。Resultの手順を送った直後にこれを行うと、同じボタンに、記録される。

　出力は、Resultかmistakeかを選んで、ボタンを押して、実行する。

Version 2.00: 2024/01/25

　　　　　　2024/09/10 再記述

2024/01/25　by kojiro for Reversi fan.